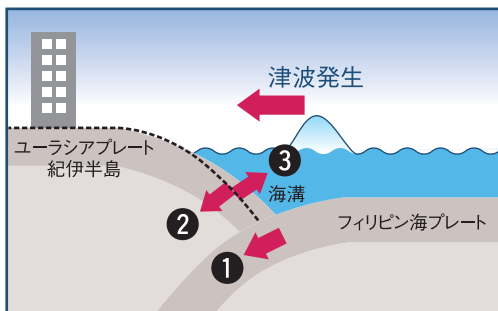




「地域の特性を理解し、日頃から災害に対しての意識を持つ」

東南海・南海地震が起こると、津波が町を襲うとも限りません。また、山間部の地形は急峻で、地震がひきがねとなって土砂災害が起こることも考えられます。地域特性を踏まえた知識を学んでおきましょう。



海溝型地震の発生メカニズム

- ① 海洋プレートが海溝やトラフの下に沈み込む。
- ② ユーラシアプレートの先端部分が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。
- ③ ひずみが限界に達した時、ユーラシアプレートが跳ね上がり、地震が発生し、津波も発生する。

●地震発生時の心得10カ条

1 わが身と家族の安全

なによりも大切なのは命。地震が起きたらテーブルなどの下にもぐり、まず第一に身の安全を確保しましょう。



2 すばやく火の始末

揺れがおさまってから「火を消せ!」とみんなで声をかけ合い、調理器具などの火を確実に消しましょう。また、避難前にガスの元コックを閉め、電源ブレーカーを切りましょう。



3 戸を開けて出口を確保

とくに中高層住宅では避難のための出口を確保しましょう。



4 火が出たらすぐ初期消火

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め初期消火に努めましょう。



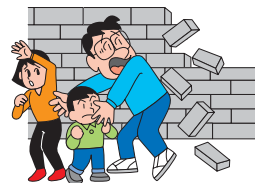
5 あわてて外に飛び出さない

あわてて外に飛び出すと落下物などにより負傷するなどの危険があるので、周囲の状況を確認してから落ちついて行動しましょう。



6 狭い路地やブロック塀には近づかない

落下物やブロック塀などの倒壊の危険のあるところには近寄らないようにしましょう。



7 山崩れ・がけ崩れ、津波に注意

山間部や海岸地帯で地震を感じたら、すぐに安全な場所に避難しましょう。



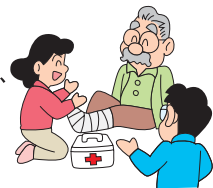
8 避難は徒歩で、荷物は最小限に

消火・救急救助活動などの障害となるので、自動車は絶対に使わず、必ず徒歩で避難しましょう。持ち物は身軽に行動できるよう最小限にとどめましょう。



9 協力し合って応急救護

多数の負傷者が出れば医療機関などでの対応が限界になるので、みんなで助け合いましょう。



10 路上駐車はしない

路上駐車が防災活動に大きな支障をきたします。普段から路上駐車をしないよう心がけましょう。

